

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8			確保できております。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			適切な設置数になっております。
	3	事業所の設備等について、 子どもが怪我をしないよう 適切に配慮がされているか	8			死角を作らないような設備等の 配置になっております。
	4	設備等へ安全を配慮した措置が なされているか？（電灯やガラスの 飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・ 階段手摺など）	8			床には衝撃を吸収するマットを 使用しロッカーの角にはカバーを しております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか	8			毎日の朝礼、昼礼で共有して おります。
	6	保護者等向け評価表を活用する 等によりアンケート調査を実施し て保護者等の意見等を把握し、 業務改善につなげているか	8			職員全員で周知し把握して おります。
	7	この自己評価の結果を事業所の 会報やホームページ等で公開し ているか	8			公開しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、 研修の機会を確保しているか	8			会社全体の研修や教室内の研 修を行っております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、 子どもと保護者のニーズや課題 を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成し ているか	8			モニタリングの時や送迎時に 話をお伺いし総合的にニーズ をお伺いしております。
	10	子どもの適応行動の状況を図る ために、標準化されたアセス メントツールを使用しているか		8		必要な時には随時対応し たいと考えます。
	11	活動プログラムの立案をチーム で行っているか	8			月単位で活動内容を決めそれ を職員で共有しております。
	12	活動プログラムが固定化しない よう工夫しているか	8			月単位で活動内容を決めそれ に基づきプログラムを作成して おります。
	13	活動場面ごとに課題を決め支 援しているか	8			プログラム作成時に課題を決 め職員間で周知しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活 動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を 作成しているか	8			作成するよう心がけており ます。
	15	支援開所前には職員間で打合せ をし、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認して いるか	8			毎日の朝礼や昼礼で行って おります。
	16	支援終了後には、職員間で打合 せを行い、その日行われた支援 を振り返り、気づいた点を共有 しているか	8			活動終了時の活動日誌、支援 記録表の記入の際に打ち合わせ ながら行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録 をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか	8			客観的に見ることを心がけ正 しい記録をとることを徹底して います。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		6ヶ月毎を下限とし必要な時にモニタリングをして見直しの判断をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	8		ガイドラインに基づいた支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		職員全員の話を集約し参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		8	学校により対応は様々で教えていただけないことがあり苦慮しております。市役所等に相談をし改善していただくようにしております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		8	必要な時には随時対応したいと考えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		8	今後の課題と捕らえおり相互理解が必要ならば対応したいと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		8	今後の課題と捕らえおり相互理解が必要ならば対応したいと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		気になることは専門機関に助言を求め指示を仰ぐこともございます。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		送迎時やモニタリング時またはお電話でお話させていただいております。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8		送迎時やモニタリング時にお話しを相談等お伺いし支援させていただいております。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時には必ずご説明させていただいております。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		送迎時やモニタリング時にお話しを相談等お伺いし支援させていただいております。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		常に対応できるようにしております。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		活動の報告や活動の内容をお便りでお渡ししています。
	32	個人情報に十分注意しているか	8		契約時にご説明させていただいているとおり十分な管理をしております。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		保護者様からのお話しを伺い配慮させていただいております。
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	今後の課題と考えております。
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		8	マニュアルは常に閲覧できるようになっております。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		8	年に2回の避難訓練を実施し消防署見学などで防災意識を高めております。

非常時等の対応	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		毎月の職員会議で共有をしています。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	8		個別支援計画書に記載させていただいております。また特別な場合においては保護者様に必ず相談させていただいております。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		保護者様からのお話を伺い配慮させていただいております。
	40	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	8		毎月の職員会議で共有をしています。